

## 令和 3 年第 1 2 回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和 3 年 1 2 月 1 5 日 (水)  
 開 会 1 4 時 5 6 分  
 閉 会 1 6 時 4 5 分  
 場 所 横田庁舎 2 階 第一会議室  
 出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員  
 高橋美奈教育委員  
 委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長  
 岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

教育長

(たたら体験学習について)

(議会 1 2 月定例会について)

- ・ 13 人の議員が一般質問を行った。町長は議会の最初の施政方針で仁多域の学校再編時期が当初予定していた令和 7 年 4 月には難しい、困難だと表明した。そのことを含めてかなりの数の議員から学校再編、高校との関係について質問があった。学校再編についてはそれぞれの議員がそれぞれ違う立場で発言をしている。

(成人式について)

- ・ 1 月 9 日土曜日に成人式を予定している。今年は、午前中に令和 2 年度の成人式、午後に令和 3 年度の成人式を行う予定にしている。現在のところ、令和 2 年度に 40 数名、令和 3 年度に 60 数名、合計 100 名程度の参加申し込みがある。参加者に対して PCR 検査等の実施はしないが、三密を避ける等の従来の対策を踏襲しながら規模を縮小して開催する予定にしている。

参加者 3 名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 高橋委員

事務局

報告第 18 号 奥出雲町放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

※資料により説明

荒金委員

これから放課後児童支援員として従事する者がこの研修を受ける理由は分かるが、現在放課後児童クラブに務めていてこの研修を受けていない者はどのような理由があるのか。

事務局	通常であれば修了した者を放課後児童支援員として配置するが、その職員が退職する時に新たな放課後児童支援員が見つからなかった場合、補充した職員に研修を受けながら務めてもらう事になる。今年はこのような事例が発生した。
荒金委員	職員の入れ替わりの関係で研修が修了していないだけであり、特別な理由があって受講していないわけではないという事か。
事務局	はい。
福田委員	この研修は希望者が受けるのか。
事務局	通常は児童クラブに従事する職員に受けてもらうようにしている。
谷尻委員	現在、研修を受けているのは何人か。
事務局	現在 12 名が研修を修了している。
福田委員	計画的に研修を受けられるようなシステムを作らないといけない。そうでないと延長の繰り返しになりかねない。
教育長	放課後児童クラブで勤務する人材をどう確保するかが課題。福祉会も人の手配が難しい状況になりつつある。
福田委員	現在、放課後児童クラブで勤務している職員は幼稚園の職員か。
事務局	福祉会の職員を幼稚園と児童クラブに配置している。
福田委員	児童クラブのみに従事する職員もいるのか。
事務局	いる。特に三成のように保育所と児童クラブが離れている施設はそのパターンが多い。また、児童クラブは子供が帰る午後からの為、午前中は保育所で勤務をし、午後から児童クラブに従事する職員もいる。
福田委員	この研修を受けるために必要な資格はあるのか。
事務局	保育士または社会福祉士の資格を所持している者、または 2 年以上児童クラブに従事した職員が対象になる。

福田委員	<p>研修を受けられる者がいなければ経過措置期間を延ばすしかない。</p>
教育長	<p>児童クラブで数年間従事した者が取れる資格の為、後付けだが、さかのぼって経過措置期間を延ばさざるを得ない。</p> <p>(その他質疑無し)</p>
事務局	<p>報告第 19 号 奥出雲町議会 12 月定例会の一般質問について ※資料により説明</p>
教育長	<p>半数近い議員が学校について質問をした。1 日目に小田川議員、景山議員が質問した内容が 2 日目でも重複したように感じている。今回から議員の質問の順番が抽選になったため、1 日目の質問と重複したため 2 日目の当日に質問を取り下げることもあった。それぞれの立場、考え方が異なっており、早く耐震化を進めた方がいいという議員、様々な事を考えながら進めた方がいいという議員もいる。現状はこのような状況である。</p> <p>(質疑なし)</p>
事務局	<p>報告第 20 号 令和 3 年度補正予算（12 月補正）について ※資料により説明</p> <p>(質疑なし)</p>
事務局	<p>報告第 21 号 小学校再編協議の状況について ※資料により説明</p> <p>資料 5 番。明日、事前からアナウンスをしていた第 4 回校区别協議会代表者会議を開催予定にしている。</p> <p>先月の定例会以降の流れを説明する。11 月 22 日に特別委員会の委員長、副委員長である小田川議員、糸原議員へ特別委員会への説明の機会を作りたいと依頼した。合わせて町としては議会の協力が無いと学校再編を進められないため、特別委員会には建設地について年度末を目途に何かしらの意見を貰いたいとお願いをした。その際に両者からはっきりとした返答はなかったが、特別委員会は調査が目的という発言があった。その後、29 日に全議員に対して説明を行った。その際に議会に日にちが迫っているため、一般質問等で質問をさせてもらおうと返答があったため、こちらから一方的に説明をして終わった。</p> <p>11 月 29 日に町長と議会あてに商工会と建設業協会の連名で要望書が提出された。この要望書については、12 月議会でも取り扱いを決定し、最終日に報告があると</p>

聞いている。

仁多地域の統合小学校については、建設地など広く意見を聞いて進めなければいけないのではないかという意見が出たため、令和 7 年 4 月の再編は難しい。しかし、未耐震の小学校の代替校舎については早急に対応したいと思っている。

令和 4 年 3 月に意向取りまとめをお願いしているが、仁多地域においては、町の考える学校再編（学級規模の確保）に対して是非を問う必要があるという事で町では整理をした。仁多地域の再編時期見通しについては、議会初日の 12 月 6 日の施政方針で話をする予定にしていたが、該当地区の理解を得るために 12 月 3 日に仁多地域のみ臨時代表者会議を開催し事前にこの旨を説明した。この臨時代表者会議以前の 12 月 1 日に自治会長会の連合会があり、その際に事情を説明して 3 日に臨時代表者会議を開催する旨を説明した。また、同日に三成校区協議会に主席した。内容としては、代替校舎の件。三成校区別協議会の希望として、元々三成小学校を移転する予定だった仁多中学校の隣接地、旧テニスコートに早急に代替校舎を建築して欲しいとの要望だった。12 月 1 日時点で令和 7 年 4 月の再編統合が難しくなったことは公にしていなかったが、この会議の中で令和 7 年 4 月の再編統合は難しくなった可能性があることを説明した。また、この協議会に内田雅人議員が参加しており、11 月 29 日に議会へ説明した内容を内田議員の責任で説明をした。こちらからは、何も無い土地に新しい小学校を建設する方が一番簡単な方法なのは理解しているが、教育に必要な物・事・人という点から現三成小学校敷地が統合小学校の建設地にふさわしいと思っている事、そのため様々な人から意見を聞いた上で統合を進める段取りに変わったと説明をした。三成校区別協議会はこちらの考えに共感を示してもらえたように感じ、その形で進めて欲しいと応援をいただいた。

12 月 3 日に開催した仁多地域の臨時代表者会では、「早期の再編を望んでいたため建設地に対して不満はあったが、保護者だけではなく、地域住民の話を踏まえた上で進めてきた。それなのに今更他の住民の話を聞くのか」という厳しい意見があった。

当方からは、要望書が提出された旨、合わせて議会から土地の別の活用法を求める声があった旨を説明し、協議会の意見を尊重したい思いはあるが、それらを踏まえた上で最終的に判断をしないといけない事を説明し、理解を求めた。協議会からは、「今まで協議を重ねてきたことが無駄になりかねないため納得できない、最終的な意向をまとめるために具体的に話をしてきたのに建設場所が決まらない状況で何をまとめればいいのか」という意見があった。町としては学級規模を確保するために再編は必要だと思っている、これに対して協議して欲しいと説明をした。再編が現在本当に必要か否かという点に絞ってまとめるしかないという点は理解してもらえたと思っている。他の代表者会参加者からは「教育を一番大事に考えて進める必要があるのに何故、今更他の活用法が出てくるのか」と意見があった。タウンミーティングを経た上で決めさせて欲しいと説明をした。

明日の代表者会議の内容については、臨時代表者会で説明した内容が主。新しく提供できる情報は無いが、再編後に学校校舎として使用しなくなる施設の活用につ

	<p>いては、再編の意向が決まった後、同意を貰えた地域については、来年度以降活用について話し合いをさせて欲しいと示した。</p> <p>意向報告書は、令和４年３月２０日を提出期限としてお願いをする予定。提出後の流れとして、再編に同意する校区が決まるため、令和４年度以降は新学校の立ち上げの検討部会、地域との関り検討部会、跡地利用の検討部会を立ち上げて検討していく必要があると思っている。一般質問でも答弁したが、跡地利用などはちいきづくり推進課などが主体になると予想しており、教育委員会の教育魅力課は新学校の立ち上げの部分を担当する事をイメージしている。校区別協議会については、構成する人間は変わる可能性があるが、引き続き組織として継続し、新学校の立ち上げに向かって協力して欲しいと依頼をする予定にしている。仁多地域については、３月末に特別委員会の意向表明を依頼しているため、その意向を踏まえて進める予定にしている。その場合、再度総合教育会議を開催し、そこで決定することになると想定している。どちらにしても４月以降、令和４年度の早い段階と説明をする予定にしている。</p>
教育長	<p>前教育長と共に各校区を回った際は、現状の少人数の学校で良いという意見がかなり強い地区もあったが、校区別協議会代表者会の意見を聞いているとそのような考え方と示す地区は少なくなっていると思っている。議員の中にも現状、今のままでは子供を含む人口が減るばかりであり、いずれ学校再編は必要になってくるとい意見が主になってきているという感触がある。保護者については、早急の再編統合を要望している。特に三成小校区、布勢小校区では早急の未耐震対策をして欲しいとの強い気持ちを感じている。しかし、一部の議員、団体等からは建設場所の再検討、金銭面、再開発などを求める声が出ており、難しく感じている。</p> <p>横田中学校校区内にて、馬木校区がまだ動きを決めていない、鳥上校区が早めに行動するのではないかと聞いています。これが確実ならば、令和７年４月に再編する校区は八川のみになる可能性が出てきた。また、仁多地域の再編統合が延期になるのならば横田地域の再編統合も延期し、両地区一緒に統合をした方がいいのではないかと個人的な意見もある。このような意見はあるが、教育委員会の考える小学校の適正規模を早期に実現するための再編という点はぶれずにやっていくべきだと考えている。</p> <p>仁多地域統合小学校の建設地については見通しがたたず、解決策も分かりかねている。</p>
谷尻委員	<p>少し安堵した。わずかだが、先が見えた気がする。</p>
教育長	<p>仁多地域の統合小学校の建設地が決定しても布勢小学校と三成小学校の耐震化をどのように解決するか課題はまだ残っている。過去のつけが一度に出てきたため難しい状況になっている。</p>

事務局	配布した資料の一部を全戸配布する予定にしている。保護者にはこの文書に準じたものを議会の初日、6日に各家庭に持ち帰る事が出来るように配布をしている。
教育長	現状、一番いい解決方法を見つけられていない。様々な意見を聞きながら出来るだけ早急に一番良い形に持っていけるか考えていきたいと思っている。
	(その他質疑なし)
事務局	<p>その他連絡事項 (教育版タウンミーティングについて)</p> <p>議会へ広く意見を聞く場所を作ると話をしている。また、仁多地域の臨時代表者会議の際に話をしているが、現在、来年2月のタウンミーティング開催を目指して調整をしている。予定としては、日曜日に仁多地域、横田地域を分けて同日の午前午後で開催出来ればよいと思っている。詳細については詰め切れていないため、決定次第この場で報告をする。</p>
福田委員	タウンミーティングのテーマを決めるのは難しいと思っている。有線放送で学校再編の話し合いへの参加を呼び掛けていたが、あれは協議会関係なのか。
教育長	横田の校区別協議会が有線放送で定例会への参加を呼び掛けている。そこの話し合いの内容については、具体的な報告があるわけではない。
福田委員	校区別協議会の中だけで話し合っても仕方がないので広く意見を聞くために有線放送で定例会への参加を呼び掛けた。しかし、その定例会がどうなったのか分かっていないという事か。
教育長	校区別協議会の代表者からは「参加を呼び掛けても参加をしてもらえないという悩みを持っている」と聞いている。後から様々な形で個別の話は出てくるが、公式の場では発言がない。先般、自治会からアンケートが回覧されたが、そこでも大きな意見はなかったと聞いている。以前、三成地区の協議会を立ち上げる際に説明会への参加を有線放送で呼びかけたが、いつものメンバーしか参加しなかった。現在、校区別協議会で一番困っているのは、広く意見を求めても意見を貰えないが、決定する段階になって新たな意見が出てくる事。今までの協議が無駄になるのではないかという思いをかなり持っている。
福田委員	地区によって校区別協議会の構成メンバーが異なっている。阿井地区では、保護者の部会と地域の部会の2つが存在している。片方では、地域の人間が様々な事を言っているが、両方とも辻褄を合わせながら協議を行っている。地域の話聞くようにと言っているが、広く呼び掛けても参加しない状況。タウンミーティングは必

	<p>要だと思っているが、テーマをどうするのか、難しいと思っている。</p>
教育長	<p>議員が校区别協議会に参加していないと聞いている。確定ではないが、議員にもタウンミーティングに参加をしてもらい、保護者、校区别協議会からこれまでの経緯や思いを語ってもらった上で合意形成が出来ればと思っている。タウンミーティングの大きなテーマは再編統合をしようと思っているが、どうするかという事になると思っている。また、仁多地域については、建設予定地について話が出てくると思っている。タウンミーティングについては、声の大きな数人、または利害関係のある人間の言葉で議論が変化したらいけないため、保護者の声が大きく出るような場を設ける必要がある。</p>
福田委員	<p>議員には参加して欲しい。校長会や歴代 PTA 会長へ呼びかけていくのはどうか。</p>
教育長	<p>タウンミーティングを広く意見を貰う会の 1 つにしないといけない。高橋委員、何かあるか。</p>
高橋委員	<p>特別委員会から意向表明があるのはいつか。</p>
事務局	<p>意向表明をするという明確な返答はもらっていない。しかし、10 月に特別委員会を立ち上げ初回の会議を開催した際、議員からこの委員会は何をするのかという疑問が出たと聞いている。その会議の中で「特別委員会を立ち上げたからには何かしらの意見を出す方向で進める」という確認をしたと聞いている。議会から何かしらの意向表明が無い限り統合小学校の建設、並びに布勢小学校と三成小学校の児童の仮設での安全確保もできないことになりかねない。何かしらの意思表示が無い結果、（仁多地域の再編を諦め）布勢小学校と三成小学校校舎の耐震工事を行わなければならなくなる。その選択肢は望んでいない。</p>
教育長	<p>年明けにいくつかの校区から校区别協議会で話をして欲しいと要望が出ている。そこで様々な意見を貰いながらタウンミーティング、特別委員会の意向を受けて令和 4 年 3 月の段階で各校区の意向を提出してもらおう。その後、4 月を予定しているが、再度総合教育会議を開催し、町としての考えをまとめられればいいと思っている。仁多地域の臨時代表者会でも説明をしたが、議会に同意をもらえるためにどのような方法がよいか模索していると説明をしている。</p>
福田委員	<p>商工会と建設業協会からの要望書はどのような内容か。</p>
事務局	<p>現三成小学校敷地の活用法について、有効活用を求めるとの内容だった。</p>
谷尻委員	<p>統合小学校の校舎は有効活用ではないという事か。</p>

事務局	この要望書を提出した立場の人から、統合小学校の建設地はタウンミーティング等で様々な意見を聞いた後に決めるべきではないかという意見があった。合わせて、今の地域の状況を見たうえで町が決めた総合計画、総合戦略などがあるのでそれに基づいて今後町をどのように活性化していくのか、また、発展させる計画はどの様になっているのかという部分を含めて見直しを求める内容だった。
谷尻委員	この要望書を提出したのはどこの商工会と建設業協会なのか。
事務局	共に奥出雲町（仁多郡）。
福田委員	この要望書は議会のみ提出されているのか。また、この要望書については議会が協議するのか。
事務局	両方に提出されている。要望書の取り扱いに関しては、特別委員会に付託する。最終日に結論が出ると思われる。
福田委員	議会が要望書を採択した場合はどうなるのか。
事務局	要望書を採択したからと言って必ず行わないといけないわけではない。しかし、要望書の意図をくみ取り、尊重することになると思うという事を事務局長に聞いている。また、要望書の取扱いを継続審議する可能性もある。
福田委員	片方では学校再編と言い、片方では要望書の取り扱いを継続するのか。議会の考えが分からない。
谷尻委員	矛盾している。議会がこの要望書を受けない事が一番いい。
福田委員	議会が現三成小学校敷地について何かしらの結論を出さないと予算が通らない。23日に協議会をする予定にしているが、そこでも今までの協議はなんのためにしてきたのかという意見が出始めている。タウンミーティング等、仕方がないが、流れは流れとしてやっていくしかない。
谷尻委員	昨日から役場側の三成小学校に近い土地の家が取り壊されている。そのため、不動産屋が入った、誰かが買い占めたなど噂に尾ひれがついて広がっている。
教育長	議員それぞれが個人の立場で話をしている。教育委員会に同情的な人もいれば、そうでない人もいる。特別委員会を作って1つの結論を出すことは難しいと思っている。また、議員の中には議会では反対をしたが、地元から校舎の耐震について意



見を言われたため、耐震を早く進めた方がよいと意見を変えたと話す人もいた。

教育委員会は、子供たちの教育環境はどうあるべきかという方向で進めており、保護者、校区別協議会にも地域の事を考えながらその方向で進めてもらっている。町の発展やそれぞれの思いで動いている人に対して出来る事は、子供たちの教育環境を確保しなければ町の発展はないという事を理解してもらう方向しかないと思っている。校区別協議会やタウンミーティングでそこを確認し、次にステップに行くしかないと思っている。協力をおねがいしたい。

(その他質疑無し)

< 次回定例会は1月19日(水)午後4時より(予定) >

## 会 議 録 署 名

署名委員

高橋美奈

教育長

松田武彦

